

我が県土  
支え育む  
希望郷



美しい

# 県土づくりNEWS

2018年

8月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第169号  
平成30年8月31日発行  
編集 県土整備企画室



## 三陸復興



### 目次

- 2 復興道路 三陸沿岸道路  
吉浜釜石道路 吉浜IC～釜石南IC 開通！
- 4 「森と湖に親しむ旬間」イベント開催しました！
- 6 景観学習の取組が県内拡大中！  
～花巻市、一戸町で初開催 景観づくりは人づくり～
- 8 閉伊川水門工事親子現場見学会を開催しました  
～いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会の取組～
- 9 夏休み下水道教室を開催しました！
- 11 岩手県まちづくりセミナーを開催しました
- 12 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！  
【第10回】救急搬送患者の負担軽減・搬送時間の短縮

## 釜石市と大船渡市を結ぶ復興道路が開通！ 三陸沿岸道路 吉浜釜石道路 吉浜IC～釜石南IC

8月11日、三陸沿岸道路の吉浜釜石道路（吉浜IC～釜石南IC）が開通し、関係者や地元の皆さんにより、開通を祝う開通式が開催されました。

今回の道路開通により、開通済みの道路と合わせ、陸前高田市の県境付近から釜石市南部までの約40kmが自動車専用道路で繋がり、安全な通行の確保や産業振興、ラグビーワールドカップ2019™などイベントにおける交通の円滑化など、多くの効果が期待されます。



### 関係者によるテープカット

(列席者は左から、佐々木順一 岩手県議会議長、佐藤信秋 参議院議員、平野達男 参議院議員、野田武則 釜石市長、達増拓也 岩手県知事、戸田公明 大船渡市長、鈴木俊一 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、木戸口英司 参議院議員、山本正徳 宮古市長、池田豊人 国土交通省道路局長)

# 復興道路 E45 三陸沿岸道路 吉浜釜石道路 吉浜IC～釜石南IC 開通!

## 道路建設課

平成30年8月11日(土)、大船渡市三陸町吉浜にて、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている三陸沿岸道路の吉浜釜石道路 吉浜IC～釜石南ICの開通式を国、県、大船渡市、釜石市の共催で開催しました。

式典には、鈴木 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、池田 国土交通省道路局長、達増 知事、戸田 大船渡市長、野田 釜石市長をはじめ、国会議員、県議会議員、地域住民の方々など多数の関係者が出席しました。

達増知事等の挨拶、国会議員の方々からの祝辞に続き、地域の代表者として、(株)キャッセン大船渡の臂取締役から開通に期待する声が発表されました。

その後、テープカットと走り初めが行われました。



達増知事 挨拶



鈴木大臣 祝辞



期待の声 (株)キャッセン大船渡 臂取締役

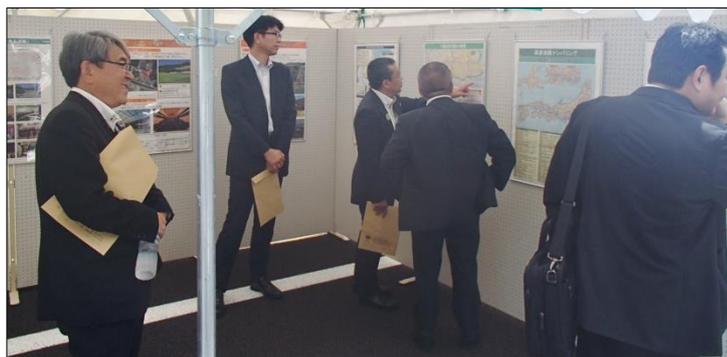


テープカット



走り初め

会場では、復興道路のパネル展示のほか、メッセージビデオの上映や(株)キャッセン大船渡によるお振舞いが行われ、開通式典と併せて約150名が来場されました。



パネル展示



(株)キャッセン大船渡によるお振舞

※写真提供 南三陸国道事務所

今回の開通により、開通済みの吉浜道路と繋がり、陸前高田市の県境付近から釜石市南部まで延長約40kmが自動車専用道路で繋がります。

開通による効果として、**重大事故の多い峠部を回避**されることによる**安全な通行の確保**や、**三陸の新鮮な海産物の輸送効率の向上**などによる**水産業振興**、**広域観光ルートが形成**されることによる**観光振興**などが期待されます。

また、来年の「ラグビーワールドカップ2019™」や「三陸防災復興プロジェクト2019」の開催においても、本路線が**円滑なアクセス**に大きく寄与します。

県では、引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し復興道路等の早期の全線開通に向け全力で取り組んでいきます。



開通後の状況① 本線



開通後の状況② 釜石南IC

【位置図】



【事業概要】

区分	路線	吉浜釜石道路
区間		吉浜IC～釜石南IC
延長		5.0km
車線		2車線
幅員		7.0(13.5)m
設計速度		80km/h
道路種別		自動車専用道路
事業期間		H23～H30
事業者		国土交通省

吉浜釜石道路 吉浜IC～釜石南IC間 位置図



# 「森と湖に親しむ旬間」イベント開催しました！

## 河川課

今年も県内各地のダム周辺で『森と湖に親しむ旬間』（毎年7月21日から31日まで）の関連イベントが開催され、たくさんの家族連れや地域の方々にご参加いただき、大いににぎわいました。雨天中止となった鷹生ダムを除く県営6ダムについて、その模様をお知らせします。

### 網取ダム（盛岡市） 「森と湖 in 網取」2018！

開催日：平成30年7月26日（木）



魚のつかみ取り

天候に恵まれ、多くの方々に訪れていただきました。特に人気だった魚のつかみ取りでは、子供達を中心に楽しんでいました。

#### <実施内容>

ダム施設見学会、ダム湖面パトロール、木工教室  
植物観察と森林浴、ダムの模型実験（築川ダム）  
魚のつかみ取り ほか

#### <参加人数>

175名

### 入畑ダム（北上市） 「遊・YOU・入畑・2018！」

開催日：平成30年7月28日（土）



ダム湖面パトロール

当日は雨天となってしまいましたが、たくさんの方に訪れていただきました。ダム湖面パトロールと西和賀キッチンカーのソフトクリームは、特に好評でした。

#### <実施内容>

ダム・発電所・浄水場施設見学会、ダム湖面パトロール、ダムライトアップ、四会場スタンプラリー ほか

#### <参加人数>

245名（全4会場合計）

### 日向ダム（釜石市） 「日向ダム湖畔の集い」

開催日：平成30年7月28日



木工教室

各イベントとも、多くの親子連れに参加していただきました。中でもダム施設見学会と木工教室が人気で、来年も参加したいという声が多く寄せられました。

#### <実施内容>

ダム施設見学会、ダム湖面パトロール、木工教室、  
魚のつかみ取り ほか

#### <参加人数>

275名

遠野第二ダム（遠野市） 森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い・2018 開催日：平成30年7月28日（土）



ひとふでんず

地元の子供たちを中心に盛り上がりました。  
特にダム湖面パトロール、ひとふでんずの人気があり、楽しんでいる様子でした。

<実施内容>

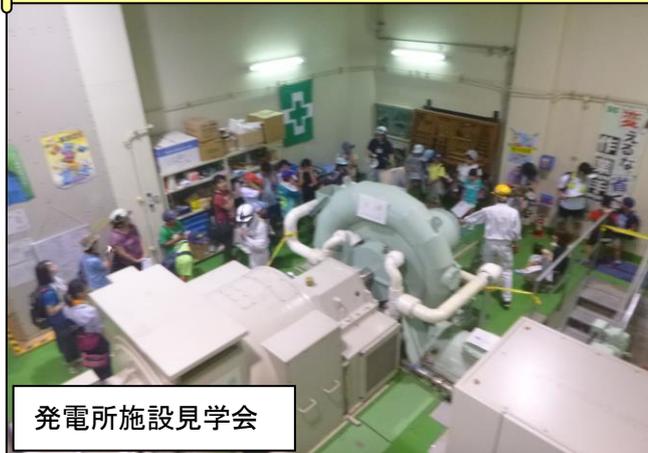
ダム施設見学会、ダム湖面パトロール、木工教室  
ひとふでんず ほか

※「ひとふでんず」とは、建設機械等の絵を一筆書きするイベントです。

<参加人数>

39名

早池峰ダム（花巻市） 「早池峰ダム」森と湖に親しむ子どもまつり 開催日：平成30年8月2日（木）



発電所施設見学会

晴天のもと、幅広い年代の方々に訪れていただきました。

発電所施設見学会では、参加者が発電の仕組みを熱心に学んでいました。

<実施内容>

ダム・発電所施設見学会、ダム湖面パトロール、木工教室、ダムライトアップ、魚のつかみ取り ほか

<参加人数>

182名

滝ダム（久慈市） 久慈・長内川の「滝ダム学習」と「川まつり」 開催日：平成30年8月5日（日）



ダム施設見学会

当日は雨天となってしまう、ダム・発電所施設見学会のみの実施となりましたが、この見学会を通してダムの機能や役割を学ぶことができました。

<実施内容>

ダム・発電所施設見学会

※川まつりは雨天中止

<参加人数>

26名

「森と湖に親しむ旬間」とは

農林水産省及び国土交通省は、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」と位置づけ、イベントを中心とした様々な取り組みを昭和62年度より実施しています。

この旬間は、国民の皆様へ森林や湖に親しんでいただくことで、心と体をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について理解を深めていただくことを目的として定めたものです。

岩手県においては平成2年からイベントを実施しており、今年で**29回目**の開催となりました。

# 景観学習の取組が県内拡大中！ ～花巻市、一戸町で初開催 景観づくりは人づくり～

都市計画課

都市計画課では、子どもたちが身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習「景観学習」を、各市町村教育委員会等と連携しながら実施しています。今年度は花巻市や一戸町で初開催するなど、取り組む小学校が増加しています。

## <景観学習の内容>

景観学習は、**県内の小学生を対象に**、身近な景観から地域の歴史や文化を理解しながら地域の魅力を感じ取る機会を提供することにより、①景観とは何かということについての理解を促し、②地域の景観をみんなの共有財産として大切にできる意識を高め、③地域に対する誇りや愛着心を育み、**景観づくりの担い手として自ら考え行動できる人材を育成すること**を目標とした取組です。

都市計画課では景観の専門家を講師として派遣し、デジタルカメラ等の備品の貸し出しをして、景観学習を実施しています。

## <景観学習の流れ（小学校3年生の例）>

### ○1回目

- ・講師によるガイダンスを実施。「景観とは何か」や地域の景観の見方や感じ方についての授業
- ・実際に児童が学区内を歩き、「好きだな」「ちょっと嫌だな」「不思議だな」などの観点で写真を撮影

### ○2回目（1回目の1週間後）

- ・撮影した写真をもとに、テーマ（好きな、不思議な、おもしろい等・・・）、なぜそのように思ったのか、タイトルを景観シートにとりまとめて発表
- ・班ごとに景観マップの作成

## <景観学習実施の様子>



ガイダンス



まちあるき



景観シートの作成



景観マップの作成

## 感想 子どもたちの声

- ・いつも遊んだり通ったりしたことのある所でも、見方を変えれば、良い所や悪い所をたくさん見つけることができました。
- ・景観がきれいだとその地域に住んでいる人たちが気持ちよく生活できるのかなと思いました。

＜景観学習の取組が県内拡大中＞

	H28	H29	H30 (予定)
実施数	1	8	14
市町村数	1	4	7
小学校数	1	5	8
延べ学習回数	3	18	36
参加児童数 (延べ参加児童数)	23 (69)	121 (258)	151 (366)

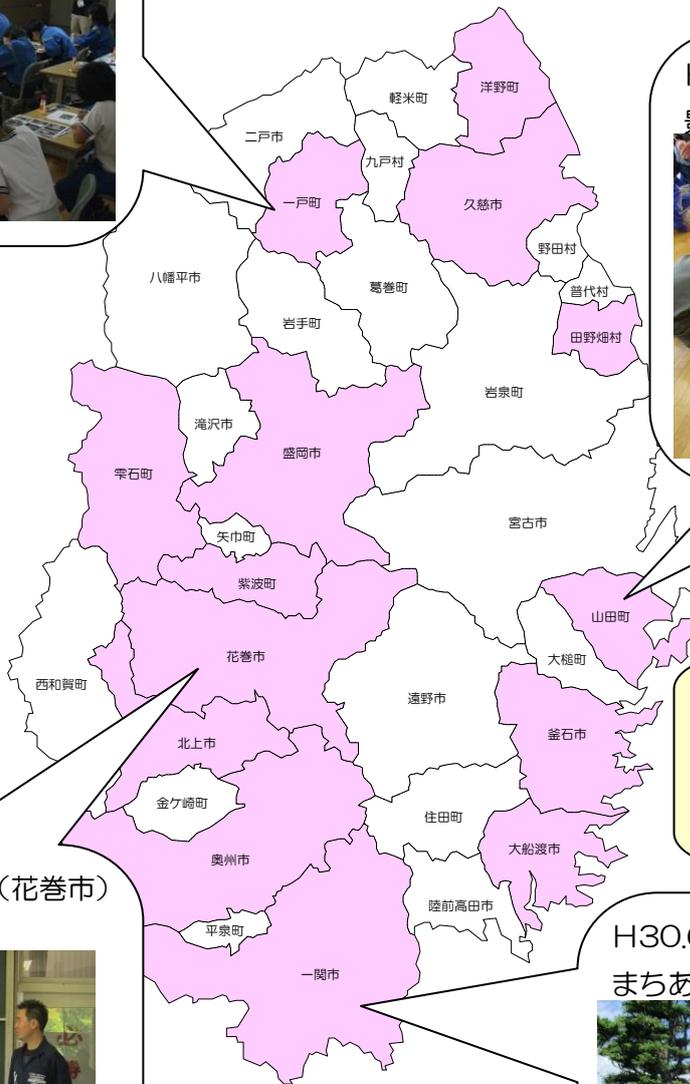
H30.7.13 鳥海小学校（一戸町）  
景観シートを作成



■景観学習実施市町村位置図

（平成 22 年度学習開始以降、平成 30 年 8 月末現在）

凡例：景観学習実施市町村



H30.5.10 船越小学校（山田町）  
景観マップを作成



平成 22 年度の学習開始から、平成 30 年 8 月末までに、14 市町村（約 4 割）で実施。現在、実施校が増加中！

H30.6.26 内川目小学校（花巻市）  
講師によるガイダンス



H30.6.22 涌津小学校（一関市）  
まちあるき



# 閉伊川水門工事親子現場見学会を開催しました ～いわて女性の活躍促進連携会議 けんせつ小町部会の取組～

建設技術振興課  
宮古土木センター

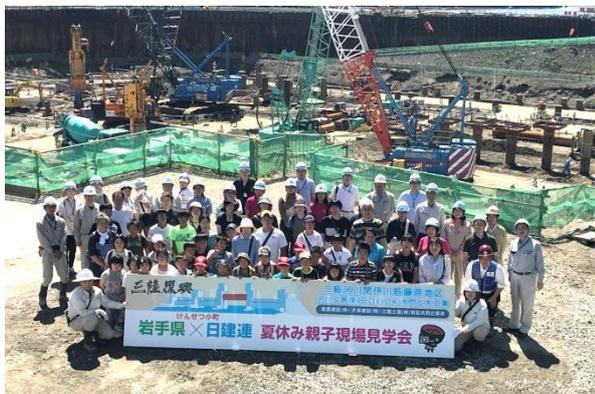
平成30年7月30日(月)に「いわて女性の活躍促進連携会議けんせつ小町部会」において、閉伊川水門工事の親子現場見学会を開催しました。

当日は、宮古地区の小中学生とその保護者42名、建設業で働く女性社員等21名の方に参加していただき、工事現場の見学、現場で働いているけんせつ小町(女性職員)の仕事内容の紹介、建設業の仕事体験を行いました。見学会後のアンケートでは、建設業へのイメージが変わったという感想をいただきました。

- 大きくなったら、ここのお仕事をやりたいです。(小学1年生 女の子)
  - 工事現場は、男性が働いているイメージだったけど、女性が働いていて、今までのイメージと変わりました。(小学校6年生 男の子)
  - 建設業に対するイメージが変わりました。子供達の将来の選択肢にも、是非、入れたいと思いました。(保護者 母親)
- (その他の感想などについては、けんせつ小町部会のHP (<http://iwate-komachi.net/>)のスタッフブログでご紹介しております。是非、ご覧ください。)

今後も、建設業で働く女性社員の活躍推進に向けた取組を行っていきます。

## 【現場見学会の状況】



【現場見学会記念撮影】



【けんせつ小町による現場説明】



【けんせつ小町の仕事内容の紹介】



【建設業の仕事体験(コンクリートの置物製作)】

# 夏休み下水道教室を開催しました！

(公財) 岩手県下水道公社

岩手県下水道公社では、下水道に関する知識の普及啓発を通じた環境教育支援を目的として、平成24年度から、岩手県内の小学校児童及び保護者の方々に対して夏休み下水道教室を開催しています。

## ＜夏休み下水道教室の開催状況＞

今年度は7月27日（金）に一関浄化センターで開催し、岩手県内から10組24名の児童と保護者が受講しました。

取組を開始した平成24年度から、延べ134名の児童と保護者が受講しています。



汚水処理のしくみについて、キャラクターを用いて、児童にもわかりやすく講義しました。



浄化センターを見学案内しました。微生物の力で濁った臭い汚水が、透明な臭くない水になる様子を見て驚いていました。



パックテストを利用して水の浄化実験を行いました。汚れた水と汚れが沈殿してきれいになった水の変化を学びました。



浄化センターから採取した微生物を顕微鏡で観察しました。見たことのない小さな生き物に非常に興味を持って観察していました。

＜受講した児童の感想＞

- 微生物を顕微鏡で見て、目に見えない生物が見られたので良かったです。
- 色々な微生物を見て楽しかったし、残飯をあまり捨てないということも学んで楽しかったです。
- いろいろ流してはいけないものがあったので、実際に流してしまったりしていたのでこの下水道教室を通して気を付けたいと思った。
- 臭かったけどいろいろなことが知れた。
- 最初に見学した浄化センターは少しにおいが臭かったけど、いろんなところが見れたので面白かったし、最初沈殿池や反応タンク、最終沈殿池などいろんなことがわかってすごく勉強になってよかったです。
- とてもおもしろかったです。微生物はすごいなと思いました。

＜その他今年度の取組について＞

- 夏休み下水道教室のほかに、流域下水道の各浄化センターの施設見学案内、下水道出前講座などの普及啓発活動をしています。
- 「下水道の日」に合わせて、9/8（土）に盛岡市東見前にある都南浄化センターにおいて「下水道探検ツアー」を開催します。

主な開催内容は以下のとおりです。



下水道探検ツアー  
(浄化センター見学)



微生物観察会



下水道スタンプラリー  
(景品抽選付)



おもしろ浄化実験



下水道建設機械の操作体験  
(下水道関連団体による協力)



PCクイズ・ゲーム

- 10/6（土）岩手県環境保健研究センターの一般公開にブース出展を予定しています。

# 岩手県まちづくりセミナーを開催しました

都市計画課

8月10日、紫波町情報交流館（オガールプラザ内）にて、平成30年度岩手県まちづくりセミナーを開催しました。

セミナーでは、新潟県見附市の久住時男市長から、同市のまちづくりについて御講演をいただきました。見附市は、平成29年度「第1回コンパクトシティ大賞」において最高賞である国土交通大臣表彰を受賞し、国土交通省が選ぶコンパクト・プラス・ネットワークのモデル都市に選定されています。

また、紫波町企画管理課の鎌田千市企画主幹にオガール・プロジェクトの概要説明をいただいたあと、現地調査を行いました。

紫波町は、昨年の都市計画全国大会において、「公民連携手法を導入したまちづくり『オガール・プロジェクト』」として、最高賞である都市計画協会会長賞を受賞したほか、平成28年度には全国自治体の行政視察件数でNo.1になるなど、全国各地から数多くの視察を受け入れていることでも有名です。

参加者は、県と市町村の都市計画事業担当者を中心に88名と例年より多く、また質疑応答が熱心に交わされ、非常に盛り上がったセミナーとなりました。



健全なまちづくりを実現するコンパクトシティの形成  
～人口減少社会に対応して都市部と村部が持続するまち～  
(新潟県見附市 久住時男市長)



紫波中央駅前都市整備事業  
オガールプロジェクト  
(説明：紫波町企画課 鎌田千市企画主幹ほか)



現地調査：紫波町図書館



現地調査：オガールアリーナ

## 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！

### 【第 10 回】救急搬送患者の負担軽減・搬送時間の短縮

#### 釜石市の事例

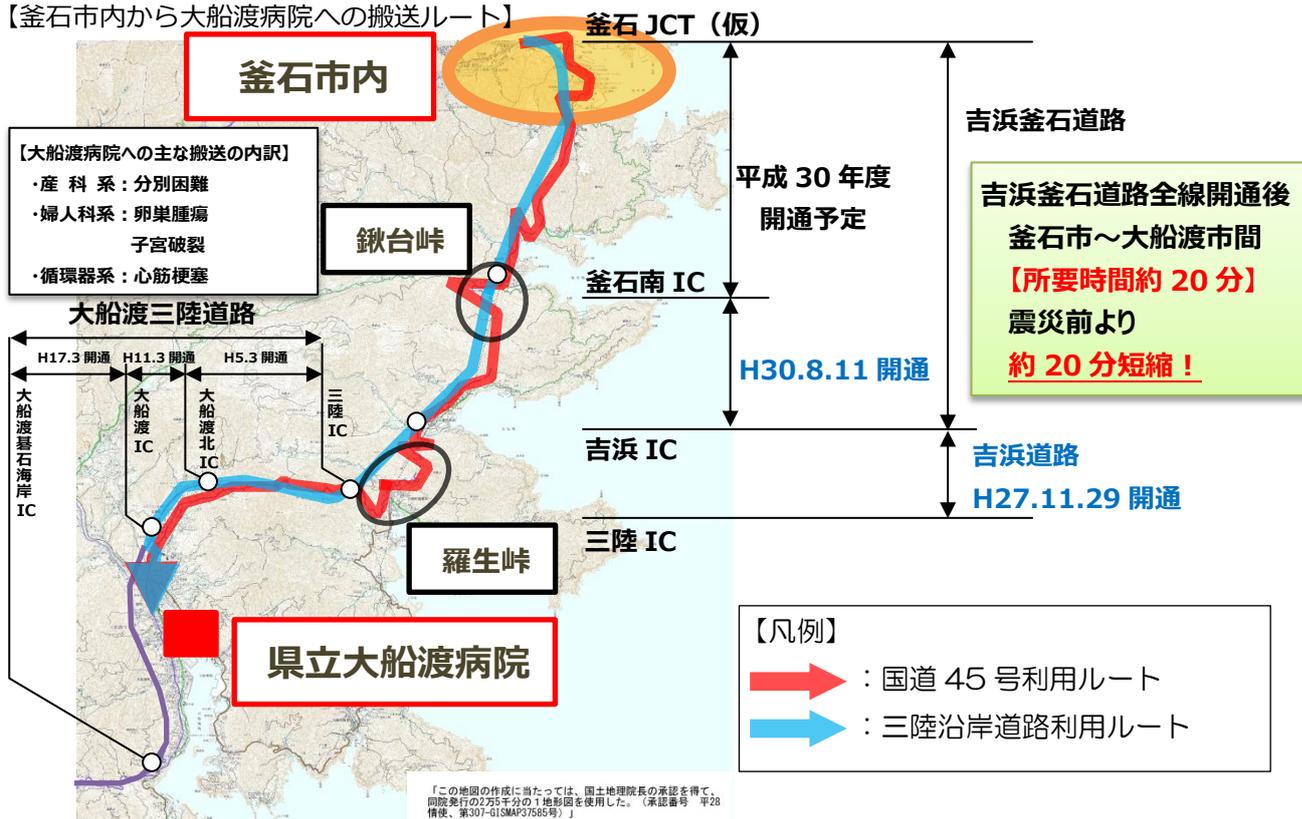
- 釜石市内の緊急を要する患者の輸送先は県立大船渡病院となっている。
- 釜石市から県立大船渡病院への輸送は、羅生峠など**多くの線形不良箇所**を通行する必要があり、大きな揺れで**搬送患者への負担**が大きい**うえ、救急処置に支障**が生じていた。

#### 道路整備による効果

- 平成 27 年 11 月の**吉浜道路**の開通により**羅生峠を通らず**搬送可能に。
- 平成 30 年 8 月の**吉浜釜石道路**（吉浜 IC～釜石南 IC）の開通により、**鍬台峠の急勾配・急カーブ**が解消。
- 平成 30 年度末に予定する**吉浜釜石道路の全線開通**により**釜石市から大船渡市まで自動車専用道路**で通行可能。

➡ **患者の負担軽減と搬送時間の短縮（震災前と比較して約 20 分短縮）**

【釜石市内から大船渡病院への搬送ルート】



#### 【お知らせ】復興道路パンフレット更新！

道路建設課で作成している『復興道路パンフレット』を更新しました。  
県公式ホームページで公開しています。（「岩手県の復興道路」で検索）

<http://www.pref.iwate.jp/douro/genkyou/043727.html>

復興道路の概要や岩手県内の復興道路の開通予定等も掲載されていますので、ぜひご覧ください。